

## 目次

D I -CR-★1-告訴状①20200622	2
D I -CR-★2-証拠20200622	5
D I -CR-★3-1号証	8
D I -CR-★4-2号証	11
D I -CR-★5-3号証	12
D I -CR-★6-4号証	16
D I -CR-★7-5号証	17
D I -CR-★8-6号証	20
D I -CR-★9-7号証	23
D I -CR-★10-9号証	24

# 告訴状D I ②

令和 2 年 6 月 22 日

前橋地方検察庁 御中

## 告訴人

〒379-1303 群馬県利根郡みなかみ町上牧 3158-1 職業 農業  
今井豊(昭和 36 年 3 月 9 日生) 電話 携帯 090-3087-1577 FAX 0278-72-5353

## 被告訴人

鈴木通夫 電話 0278-72-5037  
〒379-1303 群馬県利根郡みなかみ町上牧 2860 職業 会社員  
小林時雄 電話 0278-72-5735  
〒379-1303 群馬県利根郡みなかみ町上牧 3334 職業 不明  
鈴木政治 電話 0278-72-5882  
〒379-1303 群馬県利根郡みなかみ町上牧 2681-1 職業 不明  
石井恵子 電話  
〒379-1303 群馬県利根郡みなかみ町上牧 3329 職業 教員  
、に対し其々、名誉毀損罪

## 告訴の趣旨

被告訴人らの以下の所為は、名誉毀損罪に該当すると考えるので、厳罰に処することを求め告訴いたします。

本件は告訴状D I から親告罪だけを分離したものであり、私を狙った一連行為との前提です。

(前提) 動機は包囲網としての一連の組織力の誇示です(刑訴法 253 条の 2)

恣意性一覧表の全事件が、包囲網としての一連行為です。

包囲網として、皆で当り前のことを認めず、公序良俗を歪めて威力を示しております。

包囲網とは、世界中に広がった、私へ社会的村八分の輪の通称であり、概要は告訴状D I に添付の被害届 2018、関連事件は恣意性一覧表、に記述の通りです。

包囲網は私の全行動を常時監視しており、何から何まで全て筒抜けです。

恣意性一覧表の各事件は其々包囲網の実在を示唆しており、更には、それらの稀有な事件が私に集中する原因や各事件の類似性や相互関連性を総合すれば、いずれも包囲網としての組織力の誇示ないし公序良俗の偽装の意図であることは明らかです。

したがって厳密には、全告訴状の全告訴事実が実態的一連行為ですから、一つの告訴状に統合したいところですが、膨大で実務的でないため、このように各告訴状に分けております。

(前提) 包囲網の常として、当り前の予見可能性を無視しています

包囲網として、皆で当り前のことを認めず、公序良俗を歪めて威力を示しております。

## 告訴状D I ②

当り前の予見可能性とは、①法令、②経験則ないし論理則、③蓋然性、などですが、要するに、職責以前に一般人として当り前のことを認めないということであり、当り前に、著しく信義則違反かつ公序良俗違反、つまり、広義の違法です。

例えば、警察が訴えた被害を合理的根拠無く無視することは、①警察法や犯罪捜査規範などの法令違反であり、同時に、②合理的根拠が無いのに事件性無と言えるはずが無いので経験則違反ないし③蓋然性の無視であり、それなのに処理済と言い張るのは②論理則違反です。

### 告訴事実1 訴訟中の誹謗中傷(告訴状D I の告訴事実7、9号証)

鈴木通夫、小林時雄、鈴木政治、石井恵子、の4人は、令和2年4月8日付で東京高裁に提出した東京高裁R2ネ740慰謝料請求控訴事件の控訴答弁書において、訴えに対する合理的理由を一切示さずに否認だけし、また、下記の私への誹謗中傷を重ねました。

私が精神的疾患としか思えない旨は、被害者の私を皆で狂人扱いして自らの犯罪性を希薄化させようとする狙いの事実の摘示と言え、合理的根拠が無く、公正な論評とは言えず、また、①裁判期日の傍聴は不特定の者に公開されていること(公開主義の原則に基く伝播可能性)や、②裁判記録の閲覧は、不特定の者が可能であることや、③判例は不特定多数の者が参照する可能性が高いことから、「公然と」とみなせるので、提出日現在での、公然たる事実の摘示による名誉毀損です。

このように、一審の答弁に抗議しているそばから益々激化させるのが、包囲網の特徴です。また、このような他人の全人格を否定するような言動というものは、意味としてすべからず、人格的生存への害意であることを免れません。

#### 記

④(5頁)「私どもからすると精神的疾患があると思えてなりません。まだ若いので現代医学からして早期の治療をしてあげて治してあげる事が出来ないのかと考えて居るのも事実です。」(説明)厄介者を皆で狂人扱いして難を逃れようとするのは、世の常です。

⑤(3頁)84歳の老人にガンを付けて脅した旨

(説明)私の家の前で、私の畑に立小便をしたから侮辱だと抗議しただけです。 こういう話が伝わること自体が包囲網を示唆しています。

⑥(4頁)自販機を撤去させた旨

(説明)作業を口実にした騒音を補充員らに抗議しただけで、撤去しろなどと言っていない。

⑦(4頁)私の暴力的行動に怯えながら暮らしている旨

(説明)まさに因縁ですが、そう感じるのは、自分達にやましいところが有るからでしょうね。

#### (説明)

これには以下の、実行行為の時点の捉えかたの問題と、伝播可能性の認定の問題が有ります。実行行為の時点の捉え方について、通常は、準備書面の提出時点ないし当該裁判期日の終了時点だと思いますが、そうすると、民事訴訟では一般的に、準備書面の内容は、読み上げずに陳述擬制(口頭弁論したものとみなすこと)しますから、厳密には、傍聴人が居たとしても伝播可能性が無い、ことになります(傍聴人の有無は記録していません)。

しかし他方では、当該準備書面がファイルされた時点から、不特定の者の閲覧による伝播可

## 告訴状D I ②

能性が発生しますが、必ず発生する保証は有りませんし、いつ発生するか判りません。  
裁判所に確認したところ、準備書面がファイルされれば、以後は閲覧可能とのことです。  
このように、摘示行為とその効果(伝播可能性)の発生タイミングがずれてしまうケースであ  
り、例えば、ネットによる名誉毀損との違いは披見率だけだと思います。  
この点だけを捉えて、実行行為には該当しないとするのは、片手落ちだと思います。  
それに、訴訟中の弁論は、すべからく名誉毀損罪の対象外としてしまうと、「公然と他人の  
名誉を毀損する行為を罰し、社会秩序を守る」という刑法や名誉毀損罪の立法趣旨に反する  
と思います。  
また、民事訴訟が公開主義を取っている趣旨は、衆人環視下で裁判の公正を確保する為です  
から、その公然性は明らかだと思います。  
したがって本件の場合は、民事訴訟の弁論主義の制度的欠陥には目を瞑り、摘示した時点か  
ら伝播可能性が有るものと、政策的にみなすべきだと思います。

**鈴木通夫、小林時雄、鈴木政治、石井恵子、に対し其々、名誉毀損罪**（刑法 230 条）

（①公然と②事実を摘示し、③人の名誉を毀損(きそん)した者は、その④事実の有無にかかわらず、3 年以下の懲役若しくは禁錮又は 50 万円以下の罰金に処する。）

告訴事実 1 により、被告人らは、公然と上記の④から⑦の事実を摘示して、私の名誉を毀損したので、名誉毀損罪です。

なお、上記の告訴事実 1 は告訴状D I の告訴事実 7 と同じであり、観念的競合と考えます。

**挙証方法**      告訴状D I と全て共通ですが、特に 9 号証

**附属書類**      無

以上

告訴D I 証拠説明書 20200622

番号	標目	媒体等	立 証 趣 旨
1号証          (D I -甲1)	20170212 20:16  住所地区の構造改善センターでの地区集会の録音の反訳書	プリント原本  USBメモリー  20170212  私が作成	立証すべきは、 <u>村八分の状況</u> です。  ★1～3号証共通の不当性の説明 住所地区(吉平:よしだいら)の構造改善センター(群馬県利根郡みなかみ町上牧3034)  1 私が発言中に、帰宅したこと 2 私が発言中に、議題が不適切との因縁により妨害したこと  3 私が発言中に、後回しにさせるよう煽動したこと 4 2の模倣発言をしたこと  5 私が発言中に、集会を終わらせるよう煽動したこと 6 皆で当り前のことを否定したこと  ①猟銃脅迫事件(1、3号証)、②郵便局事件(3号証)は、 <u>いずれも、「次は自分の番かもしれない」と身の危険を感じて当然。</u>  <u>無視できない巻き添えの惧れを皆で無視したことは、村という基礎的共同体として有り得ず、包囲網を示唆しています。</u>
2号証       (D I -甲2)	20170416 19:08  地区センターでの集会の会話録音の反訳書	プリント原本  USBメモリー  20170416  私が作成	立証すべきは、前項と同じです。  この2号証では、私が発言中に、後回しにさせるよう煽動したこと(石井恵子)
3号証       (D I -甲3)	20170416 20:18  地区センターでの集会の会話録音の反訳書	プリント原本  USBメモリー  20170416  私が作成	立証すべきは、前々項と同じです。  この3号証では、 私が発言中に、議題が不適切との因縁により妨害したこと(石井恵子)、  私が発言中に、集会を終わらせるよう煽動したこと(鈴木正春)(石井恵子)、  鈴木通夫の模倣発言をしたこと(石井恵子)、 当り前の蓋然性を否定したこと(小林時雄)(石井恵子)
4号証       (D I -甲4)	平成30年4月10日付  の「吉平組役員の皆様へ」	コピー  20180410  私が作成	立証すべきは、 <u>村八分の状況を村に抗議したこと</u> です。 当時の組頭の真庭高広さんに提出しました。  <u>このような状況が今後も放置されるならば、「発言権は認めず納税義務だけ負担せよ」との取扱は、言わば債務不履行であり不当なので、改善が見られるまで、組費の納入と村の行事への参加を見送る旨</u>
5号証	鈴木通夫、小林時雄、鈴木政治、石井	コピー  20200425	立証すべきは、告訴事実5の、前橋地裁H31ワ116慰謝料請求事件の答弁での、4人の私への公然たる誹謗中傷です。  <u>理由の有る訴えに対し、誹謗中傷のみで理由を一切示さない否認の答弁の態様が尋常ではなく、威力脅迫の害意の表示です。</u>

告訴D I 証拠説明書 20200622

	恵子の、令和元年9月12日付の一審1回目準備書面	私が作成	<p>(1頁)今井豊は被害妄想が、どこから生まれるのか<u>正常な人間では、考えられない</u>ような気がしてなりません。</p> <p>(3頁)被害妄想も、はなはだしい限り           この書面には当初、<u>題名も且付も記名も捺印も頁も有りませんでした。</u></p> <p>期日において私が要求して、その場で署名させたものです。    このように、たいした常識振りです。</p>
6号証	同上の4人の令和元年10月23日付の一審2回目準備書面	コピー 20200425 私が作成	<p>立証すべきは、告訴事実6の、前橋地裁H31ワ116慰謝料請求事件の答弁での、<u>4人の私への公然たる誹謗中傷</u>です。</p> <p>日付無し。</p> <p><u>理由の有る訴えに対し、誹謗中傷ばかりで理由を一切示さない否認の態様が尋常ではなく、威力脅迫の害意の表示です。</u></p> <p>(2頁)<u>思考能力を疑わざるをえません</u>           (3頁)<u>裁判というものを</u>もて遊でいるように思えてなりません</p>
7号証  (DⅡ-甲8)	令和元年12月8日付各檀家の同意書	コピー 20191208 石井恵子が作成	<p>立証すべきは、<u>村人達の共謀の意図</u>です。    前橋地裁H31ワ183慰謝料請求事件の被告の提出証拠です。</p> <p><u>菩提寺を同じくする、私と石井恵子を除く5檀家の同意書であり、当地区では留守宅に配り物を置くのが普通だ</u>という趣旨ですが、決してそんなことは無く、現に、前任の世話人だった私は一度も立入っておりません。    だいいち、物が紛失したりしたら、どうするつもりなののでしょうか？    <u>石井恵子の無断の留守宅内侵入は、行為の性質として、憲法の憲法と言われる、憲法13条の自律権の侵害であり、このような部分社会の法理が成り立つ余地は無い</u>ので、<u>村人達の事前共謀を示唆</u>しています。</p>
8号証	令和2年1月28日付の村八分事件の判決	コピー 20200425 私が作成	<p>立証すべきは、前橋地裁H31ワ116慰謝料請求事件の判決における、<u>不当な事実認定</u>です。</p> <p>(2頁)20190316 08:00からの村の奉仕作業を、当該訴訟被告<u>4人が揃って欠席したことは事実である。</u></p> <p>(10頁)<u>出席する義務は無く、事前に知ったという証拠も無い旨</u>           包囲網としての公序良俗の偽装。</p> <p>この<u>超高度の蓋然性</u>こそが、当り前に、状況証拠(間接証拠)なのであり、<u>確率的に考えようとしないことは隠蔽の証左</u>です。</p>
9号証	鈴木通夫、小林時雄、鈴木政治、石井恵子の、令和2年4月8日付の控訴答弁書	コピー 20200425 私が作成	<p>立証すべきは、告訴事実7の、東京高裁R2ネ740慰謝料請求控訴事件の控訴答弁での、<u>4人の私への公然たる誹謗中傷</u>です。</p> <p><u>誹謗中傷ばかりで理由を一切示さない否認の態様が尋常ではなく(過度不当性)、威力脅迫の害意の表示です。</u></p> <p>(最終頁)原告は被害妄想を名誉毀損だと言っているが、私達には<u>精神的疾患としか思えない旨</u></p> <p>このように、抗議しているそばから益々激化させている点が、包囲網の威力脅迫の特徴です。</p> <p>また、再三の指摘にも拘らず、相変わらず、この書面にも、且付も頁も有りません。    たいした常識振りです。</p>

告訴D I 証拠説明書 20200622

10号証	村八分の通告が自由と名誉への脅迫	コピー	直接的に立証すべき事実は有りません。 村八分の通告が自由と名誉への脅迫に当たるとした判例です。
(D I -甲5)	(判例の摘示)	20190210 私が作成	<u>大阪高等裁判所 昭和30(う)1561 暴力行為等処罰に関する法律違反被告事件 昭和32年9月13日 破棄自判抜粋</u> 本件は、村八分の無言の実行行為と解釈できると思います。

20170212 20:16 住所地区の構造改善センター(群馬県利根郡みなかみ町上牧 3034)での  
集会の録音の反訳書

(鈴木 通夫) や、鉄砲の、鉄砲

(私) や、許可される話じゃないもん。

(鈴木 通夫) え?

(私) どうぞ、

(鈴木 通夫) や、レコーダー取るんだら話さないよ。

(村人) ちょ、すみません、

(私) 何で? その理由を、言って下さい。その理由を話してください。レコーダー録る、録るなら何で話せないん? 何で話せないん?

(鈴木 政治) 組頭に用事があるんだよ、

(鈴木 通夫) え? ちゃんと組頭の、発言する人の許可を取らないと、

(私) だから何で許可取る必要があるん? 普通の話でしょ? 私や記録、記録したいだけなんですけど?

(鈴木 通夫) 普通の話じゃないてすよ、普通の話じゃないてすよ、

(私) 普通の話ですよ、どこが普通の話じゃないん?

(鈴木 通夫) だって、りよ、猟友の人だって、ちゃんと国から免許持ってやってるんではしょ?

(私) いやいや、自分も同じ目に遭うかもしれないんですよ?それを放置しとけるんですか?

(鈴木 通夫) だって、ちゃんと猟友会の許可証持った人達がやってることによって、吉平だけでそんなことで決議をするなんてできないでしょ?

(私) いつ何時貴方の後ろに忍び寄って、耳元でドカンとやるかもしれないんですよ?

(鈴木 通夫) そ、そんな人じゃ猟友会免許取れないでしょ? 持てないでしょ?

(私) だから、発砲自体はじ、事実なんですよ?

(鈴木 通夫) そら、たまたま、そういうことが有ったって、でしょ? だ、イマ、イマイさんを狙って鉄砲を発砲したわけじゃないでしょ?

(私) だから問題なんでしょ?

(鈴木 通夫) なんで?

(私) 私を、個人を狙ってるんだったら皆さんは安全ですよ。逆にそうじゃないから問題なんでしょ?

(鈴木 通夫) だって山に入って猟友会してて鳥が出たりなんかしたら撃つよ?

(私) あの、私のはな、お話してる内容から考えて、そういう感想になるはずがないんですけど? 身の危険を感じるのが普通だと思いますが? 普通の村人だと思いますけどね? どうなんですか?

(鈴木 通夫) それは村で決議する問題ではないでしょ?って、

(私) どうしてなんですか?

(鈴木 通夫) 自分でその、猟友会だら



(私) 自分が、ご自分だって、そうゆう目にいつ何時遭わされるかもしれないんですよ？ そうですよ？

(鈴木 通夫) そんなこと考えたら車だってどこだって歩けねえじゃん？ 車がいつ飛び込んで来るかわかんねえじゃん？ それじゃ。 それと同じじゃん？

(私) あ、同じなんですか？ へええ。

(鈴木 通夫) 同じだっぺ？ 鉄砲だってちゃんと許可得て、車の運転士だって

(私) じゃ、いつ何時、いつ何時、あの、私と同じ目に遭うかもわかんないのに、いいんですか？

(鈴木 通夫) だ、車の免許と同じでしょう？ って

(私) 放置しとくんですか？

(鈴木 通夫) や、放置じゃないでしょ？ じゃ、車の免許持ってる人が車が来たら乗る権利が有るじゃないですか？

(私) いや、もちろん取り締まらない警察が一番悪いんですよ、悪いんだけども、何もしなければ自分も身の危険が及ぶかもしれないんですよ？

(鈴木 通夫) だから、議長さんと約束したでしょ？

(私) どうしてですか？ 身の安全について相談するのが当り前の、あの、近所付き合い っつか、ですよ？

(鈴木 通夫) いや、だって身の安全なんて、誰も無いもん。だって猟友会の人達が何でさっきからこの、あの

(私) 誰も無い？ どうして無いんですか？ どうして無いって言い切れるん？

(鈴木 通夫) だって、いいき、無いもん。

(私) いや、だから、発砲されたんも血だらけになったのも事実なんですよ？

(鈴木 通夫) 血だらけ？ 何？ イマイさん、イマイさん、

(私) どうしてご自分がいつなんどきそういう目に遭わないって言い切れるんですか？

(鈴木 通夫) だって、血だらけって、イマイさんがなったの？

(私) はい？

(鈴木 通夫) イマイさんがなったの？ 血だらけに。

(私) ええ、いやいや、道が血だらけに、通り道が血だらけ。だからそもそもね、何の為に道まで持ち出して捌く必要が有るのか？ とゆうのを突き詰めたら、完全に事件なんですよ。

(鈴木 通夫) 事件だったらそれは個人的に、こうゆうのが有ったから、猟友会の人に自分で申し込んだらいいんじゃないの？ 自分で。

(私) いや、申し込むとかじゃないですよ？ 刑事事件として、刑事事件として、実刑 10 年は絶対下らないですよ、まともに判断されれば。

(鈴木 通夫) 何で刑事事件なの？ それが。何で刑事事件なの？

(私) 脅迫だからです。

(鈴木 通夫) 何で脅迫？ 誰を脅迫したん？

(私) はい？

(鈴木 通夫) 誰を脅迫したん？

(私) おかしいことをおっしゃいますね？ 鉄砲で撃たれて、その10日後に通り道、血だらけにされたら、当然あのグループがやってるんだろうなと考えるのが普通でしょ？

(鈴木 通夫) いや、いや、いや、脅迫

(私) 違うんですか？ 普通でしょ？ 普通でしょ？ 違うんですか？

(鈴木 通夫) その話はだって、その人達がやったか誰がやったかわからないじゃん？

(私) や、わかんないでしょ？ やってるかもしれないでしょ？

(鈴木 通夫) わかんなかったら、だ、脅迫も何も無いじゃん？

(私) 無いって何で言い切れるん？ いや

(鈴木 通夫) 誰がやったのかもわかんないのに、

(私) 脅迫だと感じないんですか？ それを。

(鈴木 通夫) 感じないね。だって誰かわかんないもん、

(私) へええ、詭弁もいいとこですね？

(鈴木 通夫) だから、こんなところでやるんじゃなくて個人的にやってください。村でやる問題じゃないよ、それは。

(私) いや、だから、村でやる問題だから言ってるんでしょ？

(鈴木 通夫) 何で村でやる問題？

(私) 身の安全に関する共通の情報だから。違いますか？

(鈴木 通夫) 違うないよ。だって片一方はちゃんと許可証持ってやるんだよ？ 車を運転してる人と同じだよ？

(私) だから、そういう危険な行為をするハンターだったら排除すべきでしょ？ 違いますか？

(鈴木 通夫) だから、それを村でやる話じゃないでしょ？

(私) どうしてひとごとだと？ そんなひとごとのような話ができるんですか？

(鈴木 通夫) はあいいや、帰るべえ。

(村人) はい、もういいよ、帰りましょう。

(私) 録れましたから。

以上

20170416 19:08 住所地区の構造改善センター(群馬県利根郡みなかみ町上牧 3034)での  
集会の録音の反訳書

(村人) かけて具体的にそうゆうもんが無えから、だから、この組頭が予定してる議題を先  
行さしてもらったほうがいいと思うんですけど?

(鈴木 和男) そうですね?

(村人) はい、

(私) 途中で帰らないんだったらそれでいいですよ? 途中で帰るっての、問題外ですよ?  
ねえ、民主主義じゃないよね? 元々、ね?

(小林 時雄) ふふん、何が民主主義だよ。

(村人) だって、用事が有ればしょうがねえんじゃないですか?

(私) 相手の人格を完全に否定してらいね? それ。発言始めたら帰っちゃうつうのはさ  
あ。違います?

(小林 時雄) ふふふん、

(石井 恵子) じゃ、民主主義だったら、総会の議題に則ってやってから、最後にやるべき  
じゃないでしょうか? それが一番の民主主義だと思います。

(私) ですから、理由は言ってるじゃないすか? 逃げられちゃ困るから最初にやってるん  
ですよ、このあいだみたいに。逃げら、逃げた人が居るから。実績が有るから言ってるん  
ですよ?

(小林 時雄) 逃げられるようなこと言うからだろ?

(私) 何で逃げられるようなこと言うん? どこが? どこがだい? 言って、言ってごらん?

(小林 時雄) 聞きたくないことは聞きたくない。

(私) なんで聞きたくない? なんで聞きたくないんだい? その理由を言ってくれ、なぜ聞  
きたくないの?

(小林 時雄) へへ、理由なんか無えんだよ。

(私) はい? あの、録音されてますよ?

(小林 時雄) 録音なんかしたって関係ねえよ、何言ってるん?

(私) なんで理由が、じゃあ、なんで理由が無えんに帰るんだよ?

(石井 恵子) 議題をやりましょう。議題を進めましょう。

(鈴木 和男) 議題を進めます、よろしいですかね?

(村人) はい、お願いします。

以上

20170416 20:18 住所地区の構造改善センター(群馬県利根郡みなかみ町上牧 3034)での  
集会の録音の反訳書

(私) ええ、時雄さん 50%です、有罪確率。

(小林 時雄ほか) ふふふ、

(私) いや、ふふふじゃなくて、異常でしょ？ その対応、態度が。共通の身の危険に関するお話ししてるんですよ？ どうしてそういう対応んなるんですか？ 異常な村人さん達？ あの、お一人お一人、あの、締出しについてご意見をうかが、伺いたかったんですが、じゃ、まず、前組頭、何で、何であの、私の提案を無視されたんですか？

(石井 悦寿) 提案、無視って？

(私) 提案無視って、元旦に行って、次の集まりでこういう提案をしますから、って申し上げましたよね？ それをなぜ意図的に無視されたんですか？ 終わらせようと思いましたよね？ だ、3人とも異常です、対応が、今申し上げた、この件については。共通の身の危険の話なんですよ？ ええ、そうゆう、ですから、内容から言って、忘れたとかゆう、通らない話だと思います。忘れたつってもそれは認められない、たぶん。だから 70%と言ってるんです。ええ、それで、ええ、お一人お一人、その、該当猟銃グループのこの地区からの締出しについてご意見を承りたいんですが？ それがそもそもの私の趣旨です。それを鈴木通夫さんが妨害したんです。 よろしければ、新組頭からご意見賜りたいんですが？

(鈴木 和男) あのう、締出しつつのはどうゆうことなんだかよくわかんねえんで、

(私) いや、どうゆうことって、危険な行為をするハンターを近寄らせたくないという趣旨です。

(鈴木 和男) ここは、その、鳥とか獣の、なんかなってるんでしたっけ？ 保護区とか。

(村人) 保護区にはなってねえですね、保護区にはなってねえと思います。

(鈴木 和男) なってねえよね？

(小林 時雄) 保護区にはなってねえし、詳しいことはわかんねえけど。なってたって撃たねえ、そういう人が入って来たら、別に鉄砲撃たないことないよ。どんな人が入って来たっていいんだから。

(鈴木 和男) いいんだよね？

(小林 時雄) うん、

(鈴木 政治) 来んなとは言えねえやな。

(村人) はい、

(私) いや、そら拘束力はないですよ、だけど、同じ目に遭う危険を皆さん抱えるわけですよ？ それを放置しといていいんですか？

(小林 時雄) や、放置し、してるわけじゃなくて、そら、

(鈴木 和男) ほ、法律で決めてもらわなけりゃ駄目だで。

(鈴木 政治) それはさあ、放置してるんじゃないかって、それはあれ、通達がしてあるんじゃないん？

(私) はい？ あの、日本語を明瞭にお願いします。

(鈴木 政治) 猟友会じゃねえけどさあ、そうゆうのはきちんとしてるんじゃないん?

(私) 何がきちんとしてるん?

(鈴木 政治) 町自体でさあ、たとえばさあ、

(私) いや、だからさあ、真近です、30mで発砲されてんだよ? まず。その後二週間後、道、血だらけにされてんだよ? その後更に猪の死骸二回置か、置かれてんだよ? 貴方がたのねえ、対応、あの、態度がおかしいです。この中に、その中に、絡ん、その件に関与している人間が居るんだろ? そう、そう思わせますよ、皆さんの態度は。

(鈴木 政治) そうゆう人をさあ、だけど撃てる

(私) 発砲自体はハンターだったけど、通ridoの件は村人かもしれないと私は思ってますよ。

(真庭 高広ほか) 通ridoの件?

(鈴木 政治ほか) 村、な、意味わかんねえ、

(小林 時雄) 意味わかんねえこと言ってんじゃないねえよ、ねえ?

(私) だから、通ridoが血だらけだったんです。物凄い血だらけ、

(小林 時雄) それがなに、村人が関与してるつつうんかい?

(私) 可能性は充分有りますね、

(小林 時雄) 証拠も無えような事を言うんじゃないねえんだよ、だから。

(私) や、だから証拠は、証拠はこれから挙げるんですよ。

(鈴木 政治) や、証拠は、

(小林 時雄) や、証拠は挙げたら、そらだから、

(私) や、態度がおかしいから、そうじゃねえか? と推測してるんです。

(小林 時雄) そうゆうことじゃないだろ、こら。

(私) ほら、おかしいこと言い出した、どうして? 共通の身の危険に関する話でしょ?

(小林 時雄) (鈴木 正春) 共通の危険じゃねえよ、そんなことは。

(私) 何で?

(小林 時雄) 身の危険を感じねえもん。

(真庭 高広) 身の危険を感じてる人つつうんは少ねえんじゃないねえんかな?

(小林 時雄) 身の危険を感じてる人、居ねえよ、誰も。豊さん一人だけだよ、そんな。

(真庭 高広) そうだと思うよ?

(私) あ、どうぞ、どうぞ、そうゆうご意見だったら、ああ、もう出、出ましたね、あと、まだ話してないかたは?

(鈴木 和男) わかんねえから、話しようがないもん。

(私) 異常な反、お答えを二件いただいていますけど?

(鈴木 政治) 異常? 当然だよ、そんなもんは。

(鈴木 和男) それだけです、私の判断は。だから、具体的にわかんねえから何とも言うてみようがない。

(私) 具体的にわかんねえって?

(鈴木 和男) 血だらけってのは何がその、血だらけで? 身の危険を感じたつつのは誰が感じたのか? 部落で皆が感じてれば、そら、皆で相談して、あの、県なりお願いに行くだ

ろうけども、それがわかんない。

(私) ん? 何が血だらけって、血だらけって言ったら血だらけじゃねん? 何がわからないん? わかろうとしないん?

(鈴木 政治) わかることならあれだけど、

(鈴木 和男) 猪

(私) 血だらけって言って、他に何か思い当たる物が有るん? 血だらけですよ、真っ赤っかですよ、道が。雪の上の通り道が。

(村人) だって猟友会がもったり色々してるわけでさ、

(鈴木 政治) それで国で決めてあることだもん、無えだっぺ。

(鈴木 和男) 血だらけなんは村人が何か関係有るんかい?

(村人) それがわかんねんだよ、

(鈴木 和男) その血だらけにしたのは?

(私) や、だから、死骸が有った場所と 20m 離れてるんですよ? わざわざあの、私の通り道まで持ち出して捌く必要どこにも無いんですよ?

(鈴木 和男) それが、村人と

(私) そこにありありと意図を感じるんです、脅迫の。 感じないですか?

(鈴木 和男) それはだけど、村人が関係有るんかね? それは村人が

(私) 関係無いんかね? 関係無いんかね?

(鈴木 和男) や、だけど、血まみれでわかんねえから、

(小林 時雄) 証拠が有るんかい? へへへ

(鈴木 政治) 言ってやれよ、

(鈴木 和男) 私の意見そこまでです。

(私) はい、

(鈴木 政治) 組頭、とりあえずこの件は吉平組のことは終わったんかな?

(鈴木 和男) あとはだから、役員会議と伍長会議と一緒に有るんで、この総会として閉めれば、その、そっちの会議に移りてえんですけども。

(鈴木 政治) 総会これで閉めるなら閉めて。

(鈴木 和男) この議論、今の、イマイさんだっけ?

(私) はい、だ、お一人お一人、意見を承りたいと言ってる私の意見をまた無視するんでし  
ょうか?

(鈴木 和男) うん、それ皆さんの意見で、私が一人で決めらんねえから、皆さんにその、個人的な意見じゃなくてこの会議をどうしましょうか? って意見は皆さんに聞きますよ、うん。 だけど、イマイさんの今言ったことが、皆さんがどうに考えるか? は私はわかりません。

(私) ま、強制はできないですが、あの、まだ発言してないかたで発言していただければありがたいです。

(鈴木 政治) 組の会議を終わりゃ、私、帰らしてもらおうよ。

(鈴木 和男) だ、総会として締めていいかどうかも、ちょっと俺、判断、この

(私) ええと、それからもう一つ、新たな脅迫事件が起ってます。 郵便局員が声掛けせずに、私の寝ている間に忍び込んで荷物を置いて行きました。 それには過去の殺人事件が絡んでます。これも脅迫です。要はまあ、イメージ的にはストーカー行為としてわかりやすい行為だと思いますけども。そういうのが

(石井 恵子) じゃ、郵便局のほうへ言ってもらって、ここで言う事じゃないと思いますよ。

(私) どうして、ここで言う事じゃないん？ 貴方も、貴方もそういう目に遭う、遭う可能性が有るんですよ？

(石井 恵子) 違います、違うと思います。

(私) 何で違うんですか？ どうして違うんですか？ おかしいでしょ？

(鈴木 政治) ってるんじゃねえよ、

(石井 恵子) おかしくないですよ。

(私) 言ってることがおかしいよ、私は共通の身の危険について情報を共有しているだけですよ？

(石井 恵子) 皆さん、他の人達は身の危険を感じてません。

(私) 何を言ってるん？

(真庭 高広) 感じてない。

(私) おかしな、おかしなことばかり言ってんじゃねん？

(鈴木 政治) ことじゃねえよ、それはさあ、

(私) おかしなことばっか言ってんじゃねえよ。

(鈴木 政治) 誰がおかしなこと言ってる？ おかしなこと言ってんじゃねえよ。

(私) 貴方がおかしいの、貴方がおかしいです。

(石井 恵子) 総会を終わりにしましょう。

(鈴木 正春) 総会、終わりでいいよ、もう帰るぞ俺は。

(鈴木 和男) 皆さん、総会、終わりでいいですか？

(私) はい、充分録音させていただきました、ありがとうございました。

以上

## 吉平組役員の皆様へ

20180410 今井 豊

下記はいずれも村人としておよそありえない異常な言動であり村八分と言え、私の人権を全否定して露骨に人でなし扱いし、超敵対的意思を示すことにより包囲網の威力を示して脅迫しております。

このような状況が今後も放置されるならば、「権利は認めず納税義務だけ負担せよ」という取扱に何ら正当性は無いので改善が見られるまで組費の納入と村の行事への参加を見送りたいと思います。

①鈴木通夫は20170212の集会において、私が猟銃脅迫事件の概要を説明し他の住民が巻き込まれる虞を強調し狙撃グループの同地区からの締出し決議を提案するも、「そんなん、ここでする話じゃねえ!」という発言を繰り返すとともに詭弁を展開して結局中断させたこと

②石井恵子は20170416 19:15 頃、みなかみ町上牧 3034 所在の吉平地区構造改善センターにおいて、集会の冒頭で「そういう話は本題が終わってからにしてください」と発言し、また、同日 20:30 頃「そんなこと、ここでする話じゃない!」と発言し郵便局員の犯行事例の紹介を妨害したこと

これは20170212の鈴木通夫の発言と一字一句同じであり意図的模倣です。

③他にも問題発言をした村人は何人か居ますが、発言した本人達から何の謝罪も無いのはむしろ問題ですが、それよりも村として問題なのは、今日まで誰一人としてそれを注意しようとしなかったことです。

④廣橋絹代が地主の立退き要求を無視して不当に居座っていること

そもそも廣橋絹代は私の平成9年の出資金200万円を詐取した詐欺犯であることと考えあわせれば、まさに非道を繰り返しており、村八分にされても全く不思議はありません。

⑤今井孝尚一家の異常な対応

・正明が何の脈絡も無く「お前のような馬鹿野郎が居るから村の雰囲気が悪くなるんだ。お前は気狂いだ。村の皆もそう言ってる。」と暴言を吐き、おまけに通報したこと

・20170608 午後、みなかみ町上牧 3169 所在の孝尚家において告訴人が正明に手交した苦情申出書の内容を無視するどころかその後逆に騒音をエスカレートさせたこと

・告訴人の就寝中を狙って故意に飼犬コロを執拗に啼かせ、また、業務を装って必然性無く同家所有のコンボの作動音を頻繁に発生させ音による加害を続けていること  
音による加害は鈴木通夫が組頭の頃からずっと続いています。

⑥20180414の地区総会の案内が配布されなかったこと

伍長様の今井克美はあっさり「配り忘れたかもしれない」と言っておりますが、このような村八分の状況で「ついうっかり」、つまり過失が社会通念上通用すると思いますか？



鈴木通夫 小杯晴雄 石井恵子 鈴木政治

令和1年9月12日付  
(名誉1回目)

前橋地方裁判所 平成31年ワ第116号

◎ 慰謝料請求案件全般について

今回の案件については、今井豊と猟友会の人々とのことが  
始まりであり、詳細については把握していないが、沼田警察署の  
警察官が何回も立会検証をしていると聞きおよんでいます。

そもそも村で、鳥獣の被害に苦しみ。村全体を約3キロメートル  
に及ぶ位、金網で囲い、鳥獣被害対策の強化を行い、金網の補修、  
金網周辺の除草作業にと毎年奉仕作業にて管理を行い、被害を  
最小限にすべく努力をしているところです。

村人とすれば猟友会の人々に極力、鳥獣駆除をしていただき  
少しでも被害の減少をお願いしている状況下にあります。

警察署、猟友会との見解の相違から、村で決議をとの提案であると  
推測いたしますが、狩猟免許の所持者に狩猟をするなど。村で  
決議する案件でもなく、町内の狩猟者だけでなく、県内はおろか  
県外からも出入りがあり不可能なことと考えます。

今井豊は被害妄想が、どこから生まれるのか正常な人間では、考えら  
れないような気がしてなりません。

私どもに犯罪性のものは、微塵にもなくはなはだ迷惑の何もので  
もありません。

前後しますが、通りすがりに犬が泣いたので、私を威嚇させている  
とし、警察騒ぎになった案件もあるときています。

今井豊前の道路を車が通行しただけで、大きな声で威嚇をしている事実もあるようです。

数年前には、今井豊裏の村内道路の側溝のふたが、朝早く田の水管理のため利用すると、安眠妨害であり、わざとしていると近隣住民とトラブルになり、一昨年その部分に舗装をして音の発生をなくした事例もあります。

今回の案件で、村人が次は俺が被告になるかという不安が多くなり非常に苦慮しているのが現状です。

現況化では、村の会議も出席しないからと申し出が多数あり村役員も、村運営に支障が起きてしまい苦慮しています。

村人は、正常の生活を望んでおり、今井豊にも正常な村人との付き合いしてくれるよう強く望んでいます。

今井豊が村に帰郷したころは、村人との付き合いも普通にしていたように思いますが、ここ数年で態度が変わり近隣の住民からは、現在不安から、ある意味恐怖を感じるというお話も流れてきています。

我々を含め村人全員が、一日も早く元の住み良い村の姿を取り戻したく強く望んでいます。

録音についても、制止したのに内緒で録音し、今回の裁判になり

今まで皆さんの意見を取りまとめて村の運営をしていたのに村人が自由な発言ができなくなり、はなはだ遺憾に思います

鈴木通夫 小坪晴雄 石井恵子 鈴木政治

前橋地方裁判所 平成31年ワ第116号

令和元年6月13日付け

◎ 鈴木政治家族の付きまといについて

被害妄想も、はなはだしい限りであり対応に苦慮する。

日常生活の上での、農作業であり、白い車は妻の車であり  
作業の打ち合わせ、休憩時間の差し入れ等の行為は、何ら疑われるべきものではなく、このような状況を、その都度つきまといと言うので、  
あれば、私を含め、村の人々は、自分の農地の農作業をすることすら出来ない状況になり異常な日常生活の状況化に追い込まれることを非常に懸念します。

村は、今井豊、一人の生活環境ではなく村人が安心して生活できる環境を考慮すべきであると考えます。

私を含め、今回の裁判は村人全員を不安にさせているのが現状である。

一日も早い村の正常の生活環境を望んでいます。

( 名誉( 2 回目 ) )

令和1年10月23日

事件番号 前橋地方裁判所 平成31年(ワ)第116号

鈴木 通 夫



鈴木 政 治



小林 時 雄



石 井 恵 子



D1 (2) 令和元年9月19日付け 準備書面について

第一について

毎回申し上げるように私どもは、世間一般の常識の範囲の中での取り扱いであったと考えていますので、原告の発言の妨害、発言の自由を奪うことをしたとは考えておりません。

また申し出の中で令和1(ワ)289, 平成31(ワ)182の裁判訴訟を上げていますが、私どもには、関係ないことと思います。

私どもは、何のことなのか全く把握しておりません。

第二について

前回も申し上げたように、被告になるとは、夢にも思っていない私たちが、4人そろってどうしたら出来るのでしょうか、

包囲網とか、パソコンのウイルスとか何を根拠にして、威力と思うのか、思考能力を疑わざるをえません。

### 第三について

土地の所有者は、名義上は、篠田照夫ですが、すでに亡くなっており、現在の管理者は、奥さんの篠田由紀子さんです。

原告の案内のように、今井孝尚さんが耕作していましたが、高齢になり返納したいと申し出があり、篠田由紀子さんが、近くに耕作地がある、鈴木政治に耕作の依頼をして、鈴木政治が耕作を始めたのが実情です。

篠田由紀子さんと鈴木政治の口約束だけで、契約書は交わしておりません。

たとえば、仮に売買したとしても、原告に契約書、通帳、資金授受の関係書類を提示する必要は全くありません。証拠物件には、関係ないことかと考えます。

### 第四について

非常識極まりないといっていますが、私どもは裁判には、素人でして教えていただきながら原告との裁判をしています。

もとをただせば、裁判に詳しくなるような一般人がどこの世界にいるのでしょうか、裁判詳しい方は、裁判官さん、検事さん、弁護士さん、くらいではないでしょうか。

申し上げにくいことですが、原告は裁判という法律関係の厳格ではなくてならないことを、ある意味原告の言う、(ゾンビ化) ではないが、裁判というものをもて遊んでいるように思えてなりません。

#### 参考 部落内構成につて

部落内 総件数	3 6 軒
現況状況	2 3 軒
空き家	1 3 軒
実生活者人員	4 6 人
老人施設等	4 名

## 同意書

世話人として 菩提寺からの預かり物を配布する際、留守の時は、玄関先に置くことがあり、そのことについて留守宅の住人から非難されたことはありません。また、留守の時、地区の配布物等を玄関先に置くことはこの地区では常態となっています。

令和元年12月 8日(日)

吉平上世話人

小林時雄

石井悦寿

石井文子

今井京子

今井克美

付記 ・「吉平上」とは吉平地区を「上」と「下」の2地区に分けている。

・世話人とは、菩提寺の檀家7人である。原告と被告と署名した5人である。

4/32  
A1  
(名誉3回目)

令和2年4月8日付

事件番号 東京高等裁判所 令和2年(ネ)第740号

鈴木 通 夫



鈴木 政 治



小 林 時 雄



石 井 恵 子



### 答 弁 書

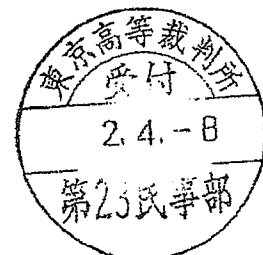
第一 原告の訴訟の即刻取り下げを求めます。

第二 訴訟費用についてはすべて原告の負担を求めます。

### 旨趣理由

前橋地裁で申し上げたように私どもは、世間一般の常識の範囲の中での原告との対応だと考えていますので、原告の発言の妨害、発言の自由を奪う等々の原告に対しての不法行為をしたとは考えておりません。

社会の一般常識の中での対応であり、原告の主張する違法性のある対応とは全く考えておりません。





前橋地裁の判決について、原告は色々反論していますが、  
私どもは常識のある判決であると考えておりますし、私どもは  
正直ホットしていたところに今回の訴訟を起こされまた憂鬱な  
生活になるのかと危惧しております。

また原告は村八部にされていると述べておりますが、村では  
以前と変わらず、配布物も配布していますし、村の会議、奉仕作業  
の案内の書面を配布していますが、訴訟を起こしてから一度も  
原告は出席しておりません。

原告が権利を主張されるのであれば村人としての義務も果たすべき  
と考えますし原告本人が自分から村八部をしているのではないかと  
思料されます。

今回重要証拠として三件申し出がありますが、甲7号、甲8号  
とも、原告の推測であり私どもには、全く関係のない事と思います。

また甲9号の村役員改選の案内についてですが、  
詳細がないと申していますが、原告の両親が青森の妹さんの  
家に行かれてから何年も村改選会議に出席しており内容について  
知り得ない事は無いと考えます。

他の村人の出席者は全員理解しております。

## 参考

### 役員改選次第

- 1, 吉平組 組頭 一名
- 2, 吉平組 役員 五名 (二年毎、再任あり)
- 3, 農事組合長 一名
- 4, 上牧区区会議員 三名 (二年毎、再任あり)
- 5, 上牧森林組合理事 三名 (三年毎、再任あり)

甲 6 号の写真についてですが、鈴木政治は、自分の耕作地で農作業をしていただけでありたまたま通りかかった友人の車（群馬 308 ろ 222）と話をしただけです。また休憩時間の差し入れに来た家族（群馬 502 ま 9517）鈴木政治の妻の車ですが、つきまといと原告が主張していますが、原告が常にカメラを携帯してつきまといをしているのではと思料いたします。

訴訟の中で、被害妄想について人権侵害等々述べていますが、原告は、自分中心に村の生活があると思いつ込んでいるように考えます。

最近の村の状況ですが、道路を歩いて目が合っただけで、今ガンを  
くれたな、おまえは何歳だ （84歳と答える）年寄りだから

勘弁してやるから行ってよいとか。

原告の自宅から50m位離れた場所にある飲料水の自動販売機の缶の落ちる音がうるさいから撤去しろと言ひ張り持ち主が何をされるかわからない恐怖から撤去した案件も最近の村の現状です。

わずか村人が50人足らず限界集落の中、若い人の居住がなくほとんど70歳を超えた住人が今まで平穩無事に和やかに生活していた住人が、次は俺が訴訟されるのかと恐怖におびえて原告とは、目を合わせるな、話をするなというような、異様な状況の中で生活しているのが紛れもない事実です。

地裁でも申し上げましたが、近隣の沼田警察署の署員の方々が何回も色々なことで原告と面会をしているようですが、村人には何の進展もありませんし前に進む改善も見つかりません。村の住人は誰一人原告を村八部にしようとするような住人は居ません。原告が心を開いてくれれば全員で暖かく迎え入れます。

原告の自宅の周りには、年配の女性が多く、今のところ暴力的な行動は無いようですが、ある日突然というような不安を抱えて日常生活をしています。

原告は、訴状の中で精神病の名称(被害妄想)を名誉毀損としていま

すが、私どもからすると精神的疾患があると思えてなりません。

まだ若いので現代医学からして早期の治療をしてあげて治してあげ  
る事が出来ないのかと考えて居るのも事実です。

私ども法的な知識も無く現状のありのままを申し上げました。

ご理解賜りますようお願いいたします。

正式な答弁書の様式を必要でしたらご指導をいただければ再度  
提出いたします。

よろしく願い申し上げます。